

神の国の奥義(34)

=人となられた神①9=

■御言葉:ヨハネ12章12-50節

- ① ロバに乗る王(14節):主のへりくだり(ゼカリヤ9:9)
- ② 私たちの思いの性質:後ほどわかる(16節)→意味づけを焦らない(スペキュレーションを避ける)
- ③ ギリシャ人の訪問(20節):ギリシャ人は知恵を愛する、しかし主の回答は「一粒の麦」(23-26節)
- ④ メシアに対する人の期待と主の栄光(27-34節)
- ⑤ 人の子の本質=光(35-36節)
- ⑥ 信じない者たちのわざわい→癒される事が無い(40節):主は人の心を知っておられ、その心のままを許される(ローマ9:13;ヘブル12:16-17)
- ⑦ 人の誉れと神の誉れ(43節)
- ⑧ イエスのことばによる裁き(44-50節)→イエスのことばにどう応じるかがすべてを決めるイエスのことばが真理であるから(イエスのことばに対立することは父に対立する事)
- ⑨ 私たちの運命はキリストのことば(いのち)により形作られていく

■ 暗証聖句

12:14 イエスはろばの子を見つけて、お乗りになった。次のように書いてあるとおりにある。

12:23 イエスはこうお答えになった。「人の子が栄光を受ける時が来た。」

12:24 はっきり言うておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。

12:25 自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。

12:36 光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。」

12:46 わたしを信じる者が、だれも暗闇の中にとどまることのないように、わたしは光として世に来た。

12:50 父の命令は永遠の命であることを、わたしは知っている。だから、わたしが語ることは、父がわたしに命じられたままに語っているのである。